

## 週日の説教

金 大烈 神父 2011年4月20日(水)

### 《私達は皆、裏切り者》

今日の福音(マタイ 26・14-25)に入る前に、第1朗読のイザヤ預言者を通して預言されたイエス様の姿。十字架を前にしたイエス様の愛情がよく表れていると思います。もう一度読んでみましょう。

『わたしは逆らわず、退かなかつた。

打とうする者には背中をまかせ

ひげを抜こうとする者には頬をまかせた。

顔を隠さずに、嘲りと唾を受けた。

主なる神が助けて下さるから

わたしはそれを嘲りとは思わない。』(イザヤ 50・5-7)

すごい話です。私達はこのような切迫な事態に襲われた時、同じような態度を保つことが出来るでしょうか。やはり私も自信があるとは言えません。その時こそ聖霊の働きに任せる方法しかないのではないかと。そしてその時こそ、聖霊の働きに私達が根本的に頼って、自己をも投げ出せる恵を与えられるように願うしかないと思います。

私達は、本当にこのような姿勢で真理を、神様の御言葉を受け取れるかと考えてみますと、やはり私達の個人的な力では無理なことが沢山あると思います。そして、神様が助けて下さらなければ殉教の恵も絶対出来ないことを考えてみました。

さあ、今日の福音では、裏切ろうとするユダの物語が紹介されています。裏切りの意味は何でしょうか。同じ意味で背信という言葉があります。その背信という言葉の意味は何でしょうか。

私達はユダに対して色々な思いが浮かぶと思います。その思いの中で、「ああ、この人は本当に不幸だ。なぜその役割に選ばれたのか。かわいそうで気の毒だ」という気持ちもすると思います。しかし一方、「私はユダのような道は絶対歩まないだろう」という自信のある話が出るかも知れません。

イエス様は今日、12人の弟子たちを集めて過ぎ越しの食事をなさったわけです。この12人の中で、厳密に言えば裏切らなかった者はいるのでしょうか。いませんでしたね。「私はどこまでもついて行きます。」と確言したペトロさえイエスの仲間ではないかと人々に問われた時に、「いいえ、私はその人とは関係がない」と言ってしまうのです。そのことが自分の心を痛めて、私が悪かったと泣くのですが、結局ゴルゴダまでは行けなかったのです。全く逃げてしまった。そして、イエス様が亡くなって復活の体験をしてからも、小さな部屋に隠れて聖霊が注がれるまで、勇気がなく隠れてばかりだったのです。

それではイエス様を裏切ったユダと、他の11人とはどんな差があるのでしょうか。唯一つの差です。全員が裏切り者に違いはないのですが、11人は最後まで自分の目を、イエス様の御心に置こうとした

のです。逆にこの 12 人の中で一番頭が優れ学歴のあったユダが、自分なりにそれを理解しようとして、正当化しようとしてしまいました。結果的にイエス様を裏切ってしまい、自分を裁いてしまって自殺してしまったのです。他の 11 人は自分の弱さをはっきり認めました。「自分がこんな弱虫だ」と認め、裁くことまで考えない。「自分が自分を裁くことも傲慢な考えである」と、弱さを徹底的に認めたのです。ですからペトロは天国の鍵を授けてもらう栄光を受けたのでしょうか。

ある意味で、カトリックの真理は逆説なところを沢山持っています。弱さを認め弱さの中に正しい真理、神様の摂理がはっきり現れる。そういうことを考えてみますと、自分自身の弱さを見てがっかりすることもあるのですが、反面それがあるからこそ、神様の真の御心が量れるのではないかと私は思います。

では、今の時代に生きている私達は、裏切りと関係ありませんと言えるのでしょうか。皆様は、洗礼を受けてから今まで一回も、イエス様を裏切ったことなどありませんと言えるのでしょうか。言えないでしょう。私達は死ぬ時まで、最後まで、裏切り者として生きて行くかも知れません。裏切ったことを認めなければならないのです。なぜなら、そこから希望が生じるから。その希望がある限り、ちょっと転んでも倒れても、また立ちあがって最後まで行けると思います。私は少なくとも「自分の視線を神様に置きます。」という強い望みを持ちながら行けば、神様が救って下さると確信します。そのような弱虫の中で真の殉教が出来ます。元から怖がりでない者、死ぬ事にあまり感覚のない者、その者が受ける刀は殉教ではありません。足りない者が足りない者としてやられたに過ぎません。本当に私は怖い、その怖さを分かりながらも受け入れるのが殉教ではないかと思えます。

今日の福音でイザヤ預言者を通して語られたイエス様の姿、その姿を私達のものになるように願う心が必要ではないかと思ってみました。

皆様、こういうことを考えたら、私達が傲慢な者にはなれません。傲慢になれるわけがありません。少しでも振り返れば、私達は皆、裏切り者なのです。

ありがとうございました。